

ダバオ市における廃棄物利用発電技術普及促進事業

新日鉄住金エンジニアリング(株)、(公財)北九州市環境整備協会

JICA「開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業」(2014～2015年度)

<事業概要>

ダバオ市はフィリピン南部の中心都市であるが、経済活動の拡大に伴い廃棄物発生量が増大し、最終処分場の負荷抑制が課題となっている。

そこで、廃棄物の大幅な減量化とそのエネルギー利用を同時に図る「ごみ発電事業」の実施を目指し、廃棄物処理状況や関係法制度等の調査を行う。

<事業実施体制>

【新日鉄住金エンジニアリング】

- ・現地関係主体との事業計画に係る協議・交渉
- ・本邦受け入れにおけるプログラム支援

【北九州市及び北九州市環境整備協会】

- ・ごみ量・ごみ質調査の指導管理、廃棄物政策の提言
- ・本邦受け入れにおけるプログラム作成・実施

現地企業

日系企業

現地中央政府
or
ダバオ市

出資

出資

建設費補助
出資(融資)

廃棄物エネルギー供給会社
SPC

出資(融資)

新日鉄住金エンジニアリング
建設&維持管理

日本政府
JICA

Local Partner
(or コンソーシアム)
工事

将来の
ビジネス体制

<普及対象技術>

ストーカ炉式焼却炉

- ・大規模な廃棄物処理ニーズ(減量化)に対応可能
- ・廃棄物による大規模な高効率発電が可能。

